

## 教科書検討の観点から見た特色

## 1 総合所見

学習指導要領の内容に対応して構成され、基本的な題材から発展的な題材まで丁寧な解説とともにバランスよく掲載し、生徒の実態に応じた多様な学習が可能となっている。各題材は、タイトルや主文を分かりやすく示し、「問いかけ」や「ひらめきワード」を設け、意図をもって学習に取り組めるように工夫されている。特設ページ「FOCUS」「創造の舞台裏」「作家探求」や、巻末資料に、時代に沿った詳細な美術史及び制作過程を丁寧に示した豊富な技法ページを掲載し、生徒の見方・考え方を深め主体的な学習に生かせるようにしている。

## 2 学習指導要領との関連

- 1 学習指導要領に示された「美術I」の目標及び内容を踏まえ、生徒が「造形的な見方・考え方を働かせ」て、「美的体験」を重ね、「生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力」を育成できるように、**A表現・B鑑賞**を一体的に扱う題材と、**B鑑賞**を独立させた題材とを適切に配列し、**題材を相互に関連づけながら学びが深められるようにしている。**
- 2 学習指導要領の目標と内容が三つの柱で整理されたことを踏まえて、全題材で**学びの目標を三つの観点**で示し、指導と評価の視点を明確にしている。
- 3 表現題材では、「**発想や構想に関する資質・能力**」を育むために作例を多く示し、制作過程などを示して「**技能に関する資質・能力**」も身に付くよう配慮した。鑑賞題材では、「**美術作品などに関する鑑賞**」だけでなく、「**美術の働きや美術文化に関する鑑賞**」にも重点を置いて題材を設定し、作品を精選して示している。
- 4 生徒が「**造形的な見方・考え方**」をより意識できるように、特設ページ「**FOCUS**」を設け、共通事項などの美術の特質に応じた物事を捉える**視点や考え方を焦点化**して学習できるように配慮している。

## 3 特色ある内容

- 1 題材ごとに資質・能力の**三つの柱に基づいた学習のねらいや目標**を明確に示しており、生徒の理解が深まる授業づくりに生かすことができる。
- 2 **絵画・彫刻、デザイン、映像メディア表現**のそれぞれ分野別に豊富な題材が掲載されている。内容も、取り組みやすい題材から学びを深める題材まで幅広く掲載されている。
- 3 各題材ページには、学びのねらい等を意識させる「**題材名**」、「**造形的な見方・考え方**」などの学びの本質に気付かせる「**問いかけ**」、ヒントとなる「**ひらめきワード**」を配置しており、造形的な見方・考え方を深める構成となっている。
- 4 特設ページを3つのカテゴリーで設定し、「**FOCUS**」では、共通事項等に関わる造形的な見方・考え方について、「**創造の舞台裏**」では作家の言葉から主題と作品について、「**作家探求**」では、作家の生涯や代表作についての学びを深めることができる。
- 5 **各題材および巻末資料**に、発想や構想の手がかりとなる考え方や基礎的な技法が具体的に示されており、表現活動に生かすことができる。

## 4 構成上の工夫

- 1 **二次元コード（QRコード）**から、作家インタビューや制作技法の動画などの**豊富なデジタルコンテンツ**を参照することができる。
- 2 巻末資料として**日本・東洋及び西洋の美術史**を時代ごとの区分と代表作とともに掲載しており、美術史の深い学びにつなげている。加えて、**近代デザイン史、映像メディア史**を掲載しており、それぞれの分野の歴史への理解を深めることができる。また、日本のみならず諸外国の美術文化を理解する手がかりとなる**美術史年表**では一般史や時代区分を併記している。
- 3 巻末資料として**技法や色彩**に関するページを設けており、題材指導の際に制作の流れや技法の指導に活かすことができる。
- 4 作家作品に加え、**生徒作品**を掲載しており、生徒のやる気を引き出す工夫がされている。
- 5 各ページには検索のための**インデックス**をつけ、ひらめきマーク、リンクマーク、課題マークなどを統一することで、学習に取り組むやすいよう留意している。
- 6 ポートフォリオによる**学びの振り返り**の提案、**美術館**の役割や鑑賞方法の紹介、**著作権と肖像権**への配慮、**カラーユニバーサルデザインの解説**など幅広い見方・考え方に繋がる配慮がされている。
- 7 A4ワイド版の紙面により、図版を大きく掲載するとともに、折り込みページの工夫により、屏風を折った時の見え方の違いなどを実感できるよう配慮している。